

錆 発生箇所の下塗りに・・・

パワー防錆 EP039

NETIS 登録 No.KT-120046-A

改修にも、新設にも! 大幅コスト削減!!

作業性抜群・強力防錆! 錆発生箇所の下塗りに!

錆面、鉄、亜鉛メッキ、溶融亜鉛、非鉄金属面、活性塗膜面、コンクリート面などの防錆・防食・劣化の防止に幅広く使用できる防錆下塗り剤です。

最小限の研磨作業(3種ケレン)で下処理が完了し、1回塗りで厚膜を形成できるため重ね塗りが不要など、抜群の作業性でコストを大幅に削減できます。

- ◆ 1回塗りで厚膜を形成
- ◆ 最小限の表面処理でOK (3種ケレン以上)
- ◆ 多種多様な素地・上塗りに対応
- ◆ すでに発生している錆の進行を抑制
- ◆ 混合比率1:1 (重量比) と取扱いが簡単



Before



After

※パワー防錆 EP039塗布後、パワー防錆 AP089で塗装

使用方法

- ① 浮き錆や不活性塗膜は除去し、ケレン(3種ケレン以上)を行ってください。活性塗膜部分は、表面の目荒しを行ってください。
- ② 被塗面のダスト類を除去してください。海水・酸・アルカリなどで汚染されている場合には、清水洗浄を行ってください。
- ③ 混合前に主剤・硬化剤をそれぞれ、電動攪拌機などで粘度が均一になるまで撹拌してください。
※塗料は1時間程度で使い切れる量を混合してください。(気温20℃の環境下での目安。夏場などの高温時は15分程度を目安に調整してください。)
- ④ 主剤と硬化剤を1:1(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機などで2分程度よく混ぜ合わせてください。
- ⑤ 塗装は、刷毛・ローラー・エアレスガンを使用してください。
- ⑥ 使用後の容器・工具類は【EPレデューサー】、またはラッカーシンナーで洗浄してください。
- ⑦ 16時間以上乾燥後、使用する上塗り塗料の仕様に従って塗装してください。
※乾燥時間は、気温20℃・湿度60%の環境下での目安です。状況に合わせて調整してください。
※上塗りに【パワー防錆AP089】をご使用いただく事で、更に強力な防錆力が得られます。

使用上の注意

- 屋外及び日光にさらした場合、黄変、色あせ、チョーキングが起きる事があります。
- 低温時や硬化反応中に塗膜表面に結露・湿気が加わると、ブラッシング現象を起こす事があります。
- 硬化剤混入後、通常はすぐに使用できますが、低温時(10℃以下)には、30分程度熟成時間を取り使用してください。
- 希釈が必要な場合には【EPレデューサー】を、主剤・硬化剤を混合した重量に対し10%を限度にご使用ください。
- エッジ・ボルト部などは、あらかじめ刷毛などで先塗りをしておいてください。
- 開封後はしっかり蓋をして直射日光の当たらない冷暗所に保管し、お早めに使い切るようにしてください。



日本製

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
登録番号 T18026 (屋内用のみ)

- 【色 調】アイボリー
- 【容 量】10kgセット(主剤・硬化剤各5kg)
- 【標準塗布量】約37~78㎡(127~265g/㎡:1~2回塗り)
- 【乾燥膜厚】60~125μm
- 【上塗りまでの乾燥時間】約16時間(気温20℃・湿度60%の環境下での目安)
- 【混合比率】主剤:硬化剤1:1(重量比)
- 塗布面積は目安です。被塗物・作業方法等で多少異なります。

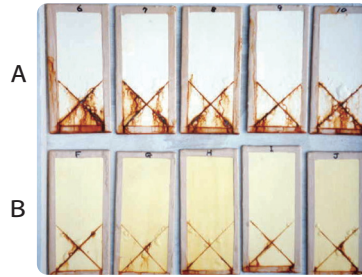
◆塗装工程を大幅に短縮

他社防錆塗料での施工に必要な下塗りは2回、さらに中塗りも必要。
 パワー防錆は下塗りを1回に短縮。
 これにより、全体の作業工程約43%削減*を実現しました。
 *国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録No.KT-120046-Aデータより

【工程例】

他社製品	素地調整	防食下地	下塗り2回	中塗り	上塗り
パワー防錆シリーズ	素地調整	EP039 (下塗り)	AP089 (上塗り)		

◆塩水噴霧試験 6,000時間 (実環境の約12年に相当)



品名: A(上) 他社エポキシ塗料
 B(下) EP039
 試験方法: JIS K 5600-7-1: 1999
 35°C / 5%塩化ナトリウム
 水溶液連続噴霧

◆パワー防錆 EP039 仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方法
1. 素地調整	塗装面の汚れ(サビ、油、水分、ホコリ)を溶剤、サンドペーパーなどで除去
2. 下塗り	パワー防錆EP039塗布 60~125μm (刷毛・ローラー・エアレスガン)
3. 乾燥	16時間(気温20°C・湿度60%の環境下)
4. 上塗り	パワー防錆AP089(アクリル変性ポリウレタン)

下塗り[パワー防錆 EP039] / 上塗り[パワー防錆 AP089]を使用の場合

◆性状

項目	性状
主剤・硬化剤混合比	主剤:硬化剤=1:1(重量比)
乾燥膜厚	60~125μm
塗布量	127~265 g/m ² (1~2回塗り)
作業性	刷毛・ローラー・エアレスガン
ポットライフ	3~5時間(気温20°C・湿度60%の環境下)
塗り重ね可能時間	4~6時間(気温20°C・湿度60%の環境下)
上塗り可能時間	16時間以上、14日以内(気温20°C・湿度60%の環境下)

◆塗膜性能試験データ

試験項目	結果	試験内容
耐衝撃性	異常なし	JIS K 5600-5-3 おもり落下法 Dupon 式 300g 高さ 50cm
付着性	100/100	JIS K 5600-5-6 クロスカット法 2mm×2mm クロスカット
耐液体性試験 アルカリ性	異常なし	JIS K 5600-6-1 5%水酸化ナトリウム 23°C 168時間浸漬
耐揮発油性	異常なし	JIS K 5600-6-1 試験用揮発油 3号 23°C 168時間浸漬
耐水性	異常なし	JIS K 5600-6-1 脱イオン水 23°C 240時間
耐中性塩水噴霧性	異常なし	JIS K 5600-7-1 5%塩化ナトリウム 35°C 6,000時間
サイクル腐食性	異常なし	JIS K 5600-7-9 サイクルD (塩水噴霧: 30°C: 0.5時間) → (湿潤: 湿度95%: 1.5時間) → (熱風乾燥: 50°C: 2時間) → (温風乾燥: 30°C: 2時間) 120サイクル
温冷繰り返し	異常なし	JIS A 6909 (23°C: 18時間) → (-20°C: 3時間) → (50°C: 3時間) 10サイクル
ヒートサイクル試験	異常なし	(-50°C: 1時間) → (30°C: 1時間) 10サイクル後 JIS K 5600-5-6 クロスカット法 2mm×2mm クロスカット

※試験の塗布量は、標準的に使用する量で行っています。
 実際の作業は、必要に応じ所定の塗布量・膜厚になるよう調整してください。

◆塗布可能な被塗面

塗装可能な被塗物	密着性
鍍面	○
亜鉛メッキ面	○
溶融亜鉛処理鋼材	○
アルミ	○
ステンレス	○
旧塗膜(活性塗膜)	○
コンクリート面	○

◆適正な上塗り

塗装可能な被塗物	密着性
2液アクリルウレタン	◎
2液ポリウレタン	◎
速乾性アクリルウレタン	◎
2液弱溶性ウレタン	◎
2液型フッ素樹脂塗料	◎
2液型シリコン樹脂塗料	○
1液弱溶剤ウレタン	○

【販売元】

【製造元】

ヒトの生命を守り — あらゆるモノの再生・延命化も

株式会社 **染めQ** テクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地31
 TEL: 0280-80-0005(代) FAX: 0280-80-0006(代)
 E-mail: support@somayq.com https://somayq.com/